

DRV-MR8500

スタンドアローン型

前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

もしものときは！！

必要な録画 / 記録ファイルが上書きされないように
本機の電源をオフにして microSD カードを取り出してくだ
さい。(→ P.22)

本機に付属の microSD カードを本機に挿入する前に 13 ページの
「microSD カードについて」をお読みください。

My-Kenwood (ユーザー登録) のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品
情報やイベント情報などをご案内いたします。

下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。


<https://jp.my-kenwood.com>

目次

本書の見かた	3	再生する	30
付属品	3	ファイル選択画面のアイコン	30
ドライブレコーダー機能ガイド	4	ファイルを再生する	30
録画機能について	4	再生中のファイルを操作する	31
運転支援機能について	5	運転支援機能を使う	32
リアスモークガラスの設定について	5	運転支援機能についてのご注意	33
安全上のご注意 (必ずお読みください)	6	前方検出範囲を設定する	33
使用上のご注意	12	後方検出範囲を設定する	34
取り付けについて	12	運転支援機能をオン/オフする	35
ご使用について	12	設定を変更する	36
衛星受信について	12	各機能の設定を変更する	36
本機のお手入れ	12	メニューの一覧	37
microSD カードについて	13	日付と時刻を設定する	40
本機で利用できる microSD カード	13	リアスモークガラスの設定を変更する	41
当社推奨 microSD カード	13	ビューアソフトを使う	42
microSD カード使用上のご注意	13	KENWOOD DRIVE REVIEWER DC の	
ファイルについてのご注意	13	動作環境	42
microSD カードスロットについて	13	ビューアソフトをインストールする	42
各部の名称とはたらき	14	再生する	43
メインユニット	14	Google Earth プロで使用するデータを	
2nd カメラ (車外後方撮影用)	15	出力して読み込む	48
取り付け / 配線のしかた	16	microSD カードのデータをパソコンに	
取り付け時のご注意	16	バックアップする	50
メインユニットを取り付ける	16	故障かな?と思ったら	52
2nd カメラを取り付ける	17	共通	52
接続する	18	駐車録画	53
推奨取り付け位置	19	イベント記録	53
車載電源ケーブル CA-DR100 (別売品)		運転支援	53
で接続する	21	KENWOOD DRIVE REVIEWER DC	54
ご使用前に	22	表示メッセージと音声ガイド	54
microSD カードを入れる / 取り出す	22	付録	56
電源をオン / オフする	22	モニター画面について	56
microSD カードを初期化する	23	商標について	56
録画する・写真を撮影する	24	ソフトウェアについて	57
画質の種類	24	ソフトウェア使用許諾契約書	59
メインユニットと 2nd カメラの映像を切り		録画時間	61
替える	24	録画ファイル数	61
録画・撮影画面のアイコン	25	主な仕様	62
常時録画	25	保証とアフターサービス	64
イベント記録	26	交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度	65
手動で録画する (手動録画)	26	MEMO	66
駐車録画	27		
写真を撮影する (静止画記録)	28		
フォルダ / ファイル構成	29		

- ・本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- ・最新の取扱説明書やファームウェアアップデート情報などを当社ホームページで提供しています。下記ウェブサイトでご確認ください。
<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/>

本書の見かた

表記	説明
(→ P.34)	本書の参照するページを表しています。
「音声記録設定」	本機に表示されるメニュー名を表しています。
[決定 / 画面切替]	本機のボタン名を表しています。
	手順の補足説明や制限事項について説明しています。
つづく	説明が次のページに続いていることを表しています。 右ページのみに表示します。

- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。
実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- 最新の取扱説明書やファームウェアのアップデート情報などについては、
当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/> をご覧ください。

付属品



車外後方撮影用カメラ x 1



車外後方撮影用カメラ
取付ブラケット (両面テープ) x 1



シガープラグコード (4m) x 1



車外後方撮影用カメラケーブル
(8.0m) x 1



メインユニット取付ブラケット
(両面テープ) x 1



アダプター付き
microSD カード (32GB) x 1



ソフトテープ x 1



保証書 x 1



• microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。

ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属の microSD カードにメインユニットと車外後方撮影用カメラ (以降 2nd カメラ) の映像および写真を記録保存します。
必ず microSD カードを挿入してからお使いください。

P.22

録画機能について

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にしている間は、本機の電源がオンになり、常に録画を続けます (常時録画)。常時録画中に、車両に大きな衝撃が加わった場合は、その前後の映像を記録します (イベント記録)。

また、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR100 (別売品) を使用しているときは、駐車中、車両に大きな衝撃を検知すると、映像を録画します (駐車録画)。

イベント記録と駐車モードの衝撃検知は、メインユニットのみで機能します。

常時録画

P.25

本機の電源オンから電源オフまで常に録画しています。



イベント記録

P.26

本機が衝撃を検知すると常時録画からイベント記録に切り替わり、イベント記録ファイルを「Event」フォルダに保存します。

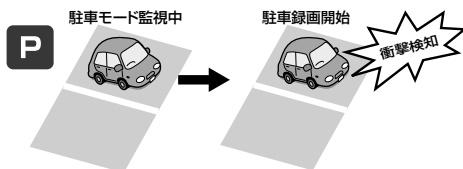


駐車録画

P.27

ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR100 (別売品) が必要です。

- ・ 駐車中に本機が監視を行い、衝撃を検知すると駐車録画を開始します。



■ その他の録画機能

手動録画

常時録画中に本機の [REC] ボタンを押すと、手動録画を開始します。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。
(→ P.26)



写真撮影 (静止画記録)

録画中に本機の [▼/📷] ボタンを押すと、写真を撮影します。
(→ P.28)



運転支援機能について

本機には車線逸脱警告、前方衝突警告、発進遅れ警告、後方車異常接近警告、後方車蛇行運転警告の5つの運転支援機能があります。

各機能については事前に本機の調整と設定が必要です。(→ P.33、P.34)

リアスモークガラスの設定について




リアスモークガラスの濃さに合わせて、録画映像の明るさを調整する機能があります。(→ P.41)

安全上のご注意（必ずお読みください）




本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

- ・録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

内蔵電池について（本機は充電式電池を内蔵しています）

危険



本機（内蔵電池）の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

警告



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

けがや事故の原因となります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

取り付けや配線について



警告



本機は DC12V ⊖アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC12V ⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取り付け許容範囲外に貼り付けない

視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ネジなど小物部品や microSD カードは乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

本機に付属のシガープラグコードを使用する

付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。

シガープラグは、確実に差し込む

確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く

コードが破損し火災、感電の原因となります。

使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く

車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。

シガープラグは定期的に清掃する

ほこりが付着していると火災の原因となります。



ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

⚠ 注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

使用方法について

警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止して電源コードを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。



高温に注意する

本機の 2nd カメラは、使用中に高温となります。高温の 2nd カメラに触れないようにご注意ください。火傷の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意



落としたら使用を中止する

機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本機の異常にお気づきのときは



本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(→ P.52)を参照して解決方法がないか
お調べください。解決しないときは、本機の電源を切り、お買上げの販売店またはお近くの当社サービス窓口
へ相談してください。

使用上のご注意

取り付けについて

- ・誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度など「取り付け / 配線のしかた」を参照して本機を正しく取り付けてください。(→ P.16)

ご使用について

- ・もしものときに備えて、本機の録画機能が正しく働いているか定期的に確認してください。本機で録画した microSD カードの映像を本機またはビューアソフト「KENWOOD DRIVE REVIEWER DC」で再生し、最新のファイルが録画されているかなどの確認を行ってください。(→ P.30、P.42)
- ・カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- ・車両のフロントガラス / リアガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- ・本機が応答しなくなった場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直すには本機の側面にある [メニュー /  / - ・LED 信号機の色が認識できなかつたり、ちらついたりする映像が記録される場合がありますが、本機の故障による症状ではありません。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。

衛星受信について

- ・GPS は、GPS の性能について全責任を負う、米国政府によって運営されています。
- ・衛星信号は、固体物質（ガラスを除く）を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、衛星信号の受信ができません。衛星信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物（例えば、樹木、高架橋または高層ビル）などの影響を受ける可能性があります。

本機のお手入れ

- ・本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- ・レンズ部が汚れている場合には、柔らかい布で軽く拭いてください。強くすると傷の原因になります。
- ・ご使用前にブラケットの接着面がはがれていないか、また、ネジの緩みなどがないことを確認してからご使用ください。

microSD カードについて

本機で使用できる microSD カード

- ・ 同梱 microSD カード (32GB)
- ・ 当社推奨 microSD カード
- ・ 以下の仕様を満たす microSD カード

容量	16GB～128GB
ビデオスピードクラス	V30 以上推奨

- ・ 同梱の microSD カード (32GB) は本機の「SD カード寿命告知機能」に対応しています。この機能は SD カードの製品寿命が近づくと「SD カードの交換推奨時期です」と音声で通知するものです。通知があった場合は早めに microSD カードを交換してください。

当社推奨 microSD カード

- ・ 当社製寿命告知機能対応 microSD カード (別売品)
詳細は
https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option
をご覧ください。

microSD カード使用上のご注意

- ・ 市販の microSD カードを使用するときは、microSD カードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。
- ・ 16GB未満の microSD カードは使用できません。
- ・ microSD カードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、製品寿命があります。定期的に新しい microSD カードと交換することをお勧めします。
- ・ microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
- ・ 本機は microSD カードの書き込みエラーが起きにくい独自システムを採用しています。そのため定期的な初期化は不要です。ただし、付属の microSD カードもしくは推奨品以外をご使用の場合は、正しく動作しないことがあります。
- ・ カメラなど、他の機器で microSD カードのフォーマット (初期化) を行うと、本機で正常に動作しません。必ず microSD カードのフォーマットは本機で行ってください。フォーマットできない microSD カードは使用できません。
- ・ 本機でのデータ読み取りおよび書き込み速度は、microSD カードの仕様によって異なる場合があります。
- ・ 分解や改造を行わないでください。

- ・ microSD カードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、清潔で乾燥した場所に保管し、高温多湿の場所には放置しないでください。
- ・ microSD カードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。
- ・ データが壊れる可能性がありますので記録中や再生中に microSD カードを取り出さないでください。
- ・ microSD カードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- ・ 必要なファイルは必ずパソコンなどに保存 (コピー) してください。
- ・ microSD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ microSD カードを着脱するときは、方向を確認し折り曲げたり、強い圧力や衝撃を与えないでください。

ファイルについてのご注意

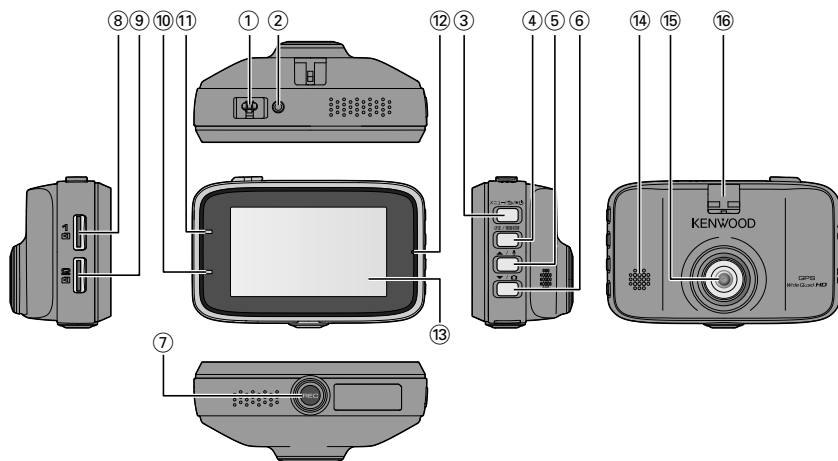
- ・ microSD カード内の必要なファイルは必ずパソコンなどに早めに保存 (コピー) してください。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ microSD カードのフォーマットを行うと、保護したファイルを含むすべてのファイルが消去されます。ただし、本機の microSD カードフォーマットや削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、microSD カード内のデータは完全に消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、microSD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って microSD カード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- ・ microSD カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

microSD カードスロットについて

- ・ 本機の microSD カードスロットは「1」と「2」があります。(→ P.39)
- ・ microSD カードが microSD カードスロット 1 に挿入されていないと正常に動作しません。
- ・ microSD カードスロット 2 の使用には、別途 microSD カードをご用意ください。

各部の名称とはたらき

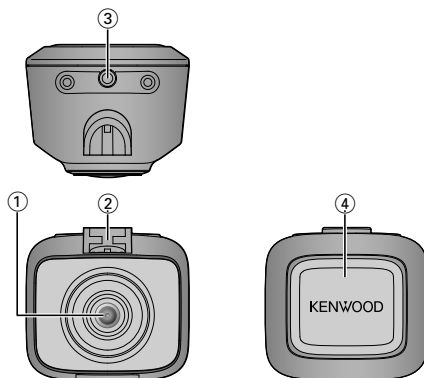
メインユニット



- ① **電源入力端子**
付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダ一用車載電源ケーブル CA-DR100(別売品)を接続します。(→ P.18)
- ② **2nd カメラ接続端子**
付属のケーブルを使って2nd カメラと接続します。(→ P.18)
- ③ **[メニュー / ◀ / ▶ / 電源] ボタン**
録画中に押す：メニューを表示します。
再生中に押す：戻るボタンとして機能します。
画面表示オフ時に押す：画面表示がオンになります。
押し続ける：本機の電源をオン / オフします。
- ④ **[決定 / 画面切替] ボタン**
録画中に押す：メインユニットと2nd カメラの映像を切り替えます。(→ P.24)
メニュー表示中に押す：決定ボタンとして機能します。
再生中に押す：一時停止 / 再生を表示します。(→ P.31)
- ⑤ **[▲ / 音声] ボタン**
録画中に押す：音声記録のオン / オフを切り替えます。
メニュー表示中に押す：カーソルを上に移動します。
再生中に押す：次のファイルを再生します。
- ⑥ **[▼ / 写真] ボタン**
録画中に押す：写真を撮影します。(駐車録画中、メニュー表示中など、画面にカメラアイコンが表示されていないときは写真を撮影できません)(→ P.28)
メニュー表示中に押す：カーソルを下に移動します。
再生中に押す：前のファイルを再生します。
- ⑦ **[REC] ボタン**
常時録画中に押すと手動録画を始めます。
再生中に押すとメインユニットと2nd カメラの映像を切り替えます。
- ⑧ **microSD カードスロット 1**
録画用の microSD カードを挿入します。(→ P.22)
microSD カードスロット 1 に microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。
- ⑨ **microSD カードスロット 2**
録画またはコピー用の microSD カードを挿入します。(→ P.22)
microSD カードスロット 2 で使用する microSD カードは、別途ご用意ください。
- ⑩ **音声 LED**
録画モード中に音声記録の設定がオンのときは点灯(緑)します。
- ⑪ **録画 LED**
録画中に点灯(青)します。
- ⑫ **マイク**
録画中の音声を収録します。
- ⑬ **LCD 画面**
録画画面、再生画面、メニュー画面などを表示します。
- ⑭ **スピーカー**
音声ガイドや警告音、ファイル再生時の音声を出力します。
音の設定については、「システム設定」の「報知音」をご覧ください。(→ P.38)

- ⑮ **カメラレンズ**
映像を広角レンズで撮影します。
- ⑯ **取付ブラケット挿入部**
付属の取付ブラケットを取り付けます。
(→ P.16)

2nd カメラ (車外後方撮影用)



- ① **カメラレンズ**
映像を広角レンズで撮影します。
- ② **取付ブラケット挿入部**
付属の取付ブラケットを取り付けます。(→ P.17)
- ③ **メインユニット接続端子**
付属の車外後方撮影用カメラケーブルを使ってメインユニットと接続します。(→ P.18)
- ④ **放熱部**
背面が放熱部となっており、使用中に高温となります。高温時は触れないように注意してください。

取り付け / 配線のしかた

取り付け時のご注意

メインユニット / 2nd カメラ共通

- ・運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・他の車載機器（安全支援システム用カメラや防眩ルームミラーなど）に影響を与えない位置に取り付けてください。詳しくは車両の取扱説明書を参照してください。
- ・運転やエアバッグ動作の妨げにならないように取り付けてください。
- ・車両のフロントガラス / リアガラスが、反射コーティングで着色されている場合、電波を伝えにくくなり、衛星受信に影響を与える可能性があります。
- ・取り付け後、車両電装品が正常に動かないか、必ず動作確認を行ってください。
- ・取り付け後、カメラレンズの保護シートをはがしてください。（→ P.18）
- ・ケーブル類は運転操作の妨げにならないように付属のソフトテープなどでまとめてください。
- ・ケーブルの配線をラジオアンテナの付近で行うと、ラジオの受信感度が下がることがあります。
- ・本機や本機の電源配線を地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに取り付けおよび配線をしないでください。テレビの受信感度の低下やちらつき、ノイズの原因になる可能性があります。

メインユニット

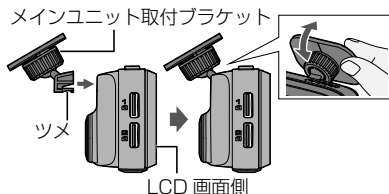
- ・フロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲内、または運転者の前方視界を妨げない位置（ルームミラーで隠れる位置）に取り付けてください。
- ・ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・車検証ラベルなどに重ならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなることがあります。

2nd カメラ

- ・直接リアガラスに取り付けてください。
- ・リアガラスに熱線がある場合は、熱線避けて取付ブラケットの接着面を貼り付けてください。
- ・ワイパーが装着されている場合、ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなることがあります。

メインユニットを取り付ける

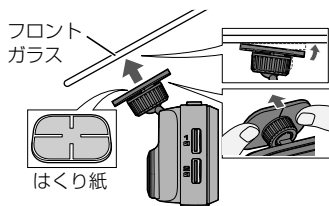
1. 水平で安全な場所に車両を駐車する
2. メインユニット取付ブラケットをメインユニットのブラケット取り付け部に差し込む
フロントガラスに貼り付ける前に大まかな角度調整を行ってから取り付けてください。



- ・取り付け方向を間違えると、正しい角度でメインユニットを取り付けることができません。上の図のようにツメをメインユニット側に向けて取り付けてください。

3. メインユニットの推奨取り付け位置（→ P.19）を参考にしてメインユニットの取り付け位置を決める
4. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る
5. 取付ブラケットの両面テープのはくり紙をはがし、フロントガラスに押しつけて取付ブラケットを貼り付ける

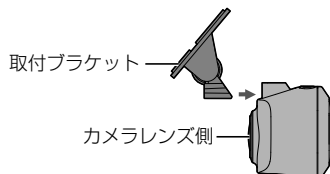
気泡が入らないように貼り付けてください。



- ・両面テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後24時間以上放置してから使用してください。
- ・一度はがした両面テープは再利用できません。

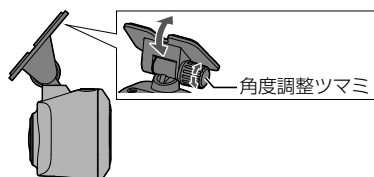
2nd カメラを取り付ける

1. 車外後方撮影用カメラ取付ブラケットを2nd カメラのブラケット取り付け部に差し込む



2. リアガラスに貼り付ける前に角度調整ツマミを緩めて、大まかな角度調整を行う

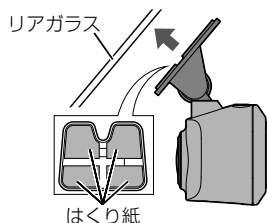
角度調整が終了した後は、緩めたネジを締め直してください。配線後に実際の映像を見ながら再調整してください。



3. 2nd カメラの推奨取り付け位置 (→ P.20) を参考にして2nd カメラの取り付け位置を決める

4. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る

5. 取付ブラケットから両面テープのはくり紙をはがし、リアガラスに押しつけて貼り付ける
2nd カメラ用の取付ブラケットは、取り付け後に上下方向の角度調整はできますが、左右方向の角度調整はできませんので注意してください。

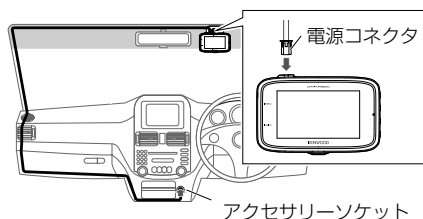


- ・熱線に接着用プレートの両面テープを貼り付けないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。
- ・両面テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後 24 時間以上放置してから使用してください。
- ・一度はがした両面テープは再利用できません。

取り付け / 配線のしかた

接続する

1. 付属のシガープラグコードのプラグ側をアクセサリーソケットに、電源コネクタ側をメインユニットにそれぞれ接続し、配線する



シガープラグコードの改造、加工は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

2. 付属の車外後方撮影用カメラケーブルで2ndカメラとメインユニットを接続し、配線する(→ P.20)

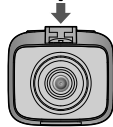
コネクタの形状(L字型/ストレート型)を確認してください。

(L字型)

(ストレート型)



メインユニット



2ndカメラ

3. カメラレンズの保護シートをはがす



・保護シートをはがした後は、カメラレンズに触れないようにご注意ください。

4. エンジンスイッチを「オン」にする

5. [決定 / 画面切替] ボタンを押して、メインユニットの映像に切り替える(→ P.24)

6. メインユニットの角度を調整する

地上と空の比率が約5対5になることを推奨します。



*写真はイメージです

7. [決定 / 画面切替] ボタンを押して、2ndカメラの映像に切り替える(→ P.24)

8. 画面を見ながら、2ndカメラの取り付け角度を再調整する

地上と空の比率が約5対5になることを推奨します。



*写真はイメージです

9. エンジンスイッチで電源を入れ直す

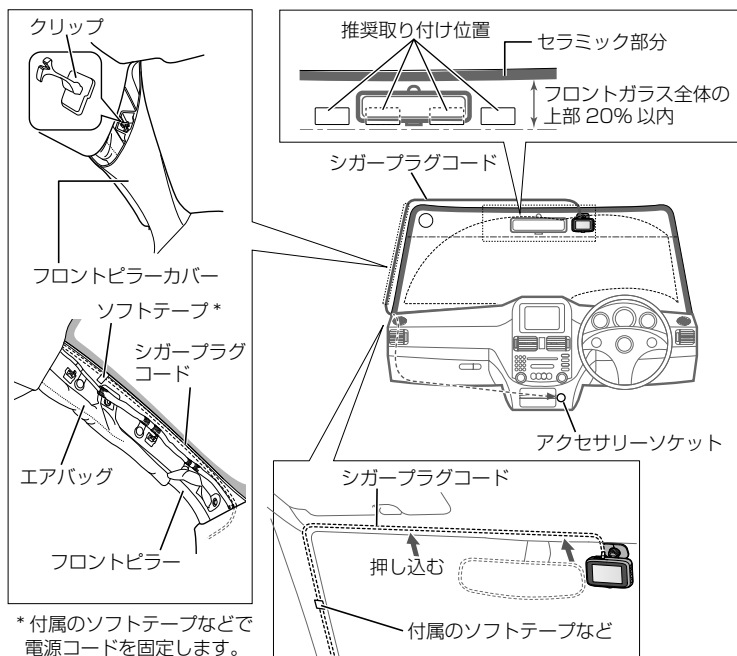
メインユニットの角度調整を行ったときは、必ずエンジンスイッチで電源を入れ直してください。調整した角度は電源が入ったときに記憶されます。

10. エンジンスイッチを「オフ」にする

推奨取り付け位置

■メインユニット

シガープラグコードの配線の引き直しを行ってください。



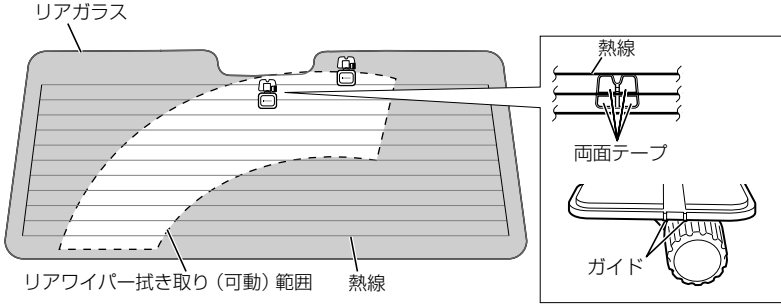
- 国土交通省の定める保安基準*に適合するように取り付けてください。
- *保安基準：道路運送車両の保安基準第29条（窓ガラス）
- ケーブル・コード類は運転やエアバッグ動作の妨げにならないように注意して取り付けてください。
- フロントピラーカバーが特殊クリップなどで固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- ケーブル・コード類は運転操作の妨げにならないように付属のソフトテープなどでまとめてください。
- 地デジやETC等のケーブル・コードといっしょに束ねないようにしてください。
- ケーブル・コードをラジオアンテナの付近に配線しないでください。ラジオの受信感度が下がることがあります。

取り付け / 配線のしかた

■2nd カメラ

リアガラスに熱線がある場合は、熱線に取付ブラケットの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。

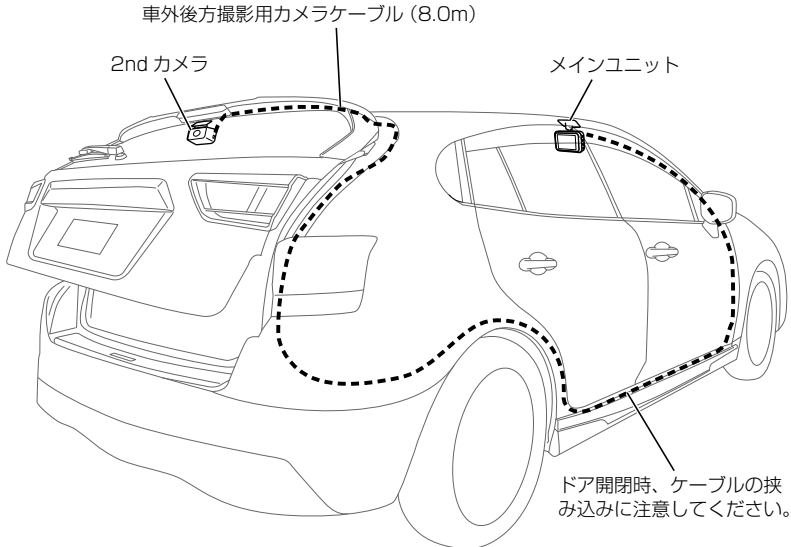
取付ブラケットに貼られている両面テープには、熱線を避けるために隙間が設けられており、隙間と同じ幅で取付ブラケットの側面にガイドがついています。側面のガイドを目安に貼り付けてください。



- ・リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると、衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性があります。本機を使用する場合は、フィルムを貼らないでください。

● ケーブルの引き回し例

ケーブルを引き回すときは、19 ページの注意事項もご覧ください。



車載電源ケーブル CA-DR100 (別売品) で接続する

シガープラグ (アクセサリソケット) を使用せずに接続できます。

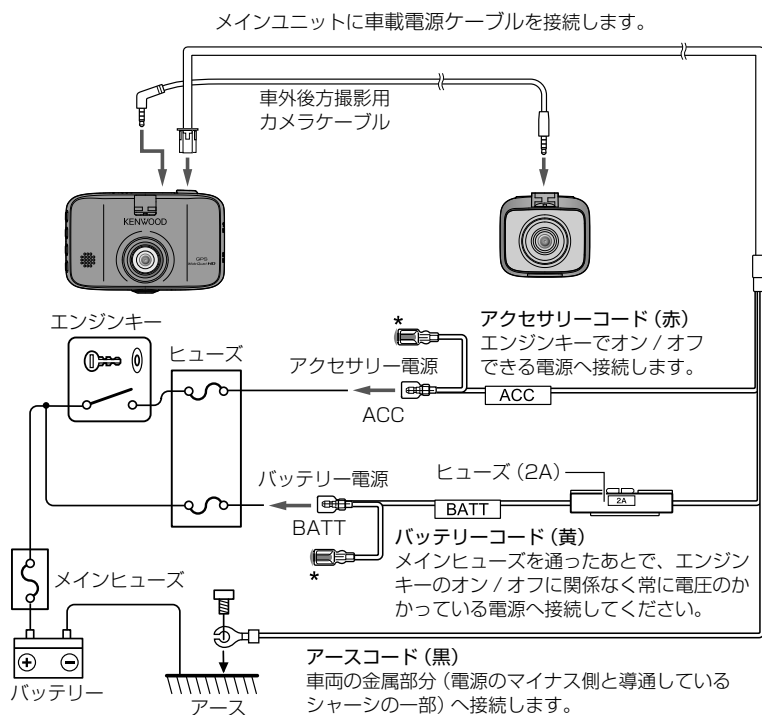
CA-DR100 (別売品) で接続して、「駐車モード設定」を「ON」にすると、エンジンキーをオフ後に駐車録画機能が有効になります。(→ P.36)



注意 ・接続作業を行うときは、初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。

1. 配線する

■ 配線のしかた



* アクセサリコード/バッテリーコードが接続できます。
接続しない場合はキャップを外さないでください。

ご使用の前に

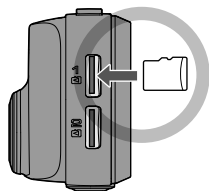
ご使用の前に、角度調整ツマミの緩み、両面テープのはがれなどが無いか、定期的に点検を行ってください。
運転の妨げや事故の原因となることがあります。

microSD カードを入れる / 取り出す

microSD カードを出し入れするときは、データの破損・消失防止のため、電源オフ中に行ってください。

● microSD カードを入れる

microSD カードを microSD カードスロット 1 にカチッと音がするまで挿入します。カードの向きに注意してください。microSD カードスロット 2 に microSD カードを挿入する場合も同様です。

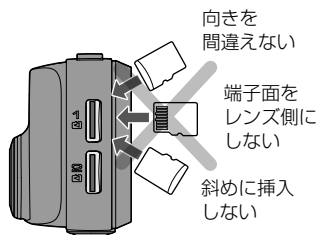


microSD カードの端子面をメインユニットのモニター画面側に向けて挿入する



- ・ microSD カードスロット 1 に microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

● 間違った入れかた



● microSD カードを取り出す

microSD カードを押して、microSD カードが少し飛び出したら引き抜きます。

電源をオン / オフする

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にすると、本機の電源がオンになり常時録画が始まります。エンジンスイッチを「オフ」にすると電源がオフになります。

● 本機の電源を手動でオフにする

本機の電源がオンのときに [メニュー / 左 / 電源] ボタンを 3 秒以上押し続けると、電源がオフになります。

● 本機の電源を手動でオンにする

本機の電源がオフのときに [メニュー / 左 / 電源] ボタンを 3 秒以上押し続けると、電源がオンになります。



- ・ エンジンスイッチがオフのときには手動で電源をオンにできません。

microSD カードを初期化する


microSD カードの初期化は必ず本機で行ってください。

microSD カードの初期化を行うと、すべてのファイルが消去されるため、保存しておきたいファイルがある場合は初期化する前にファイルをパソコンなどに保存しておいてください。


1. microSD カードを microSD カードスロット 1 または microSD カードスロット 2 に入れる

2. [メニュー /  /  / メニューが表示されます。



3. [▲ / 




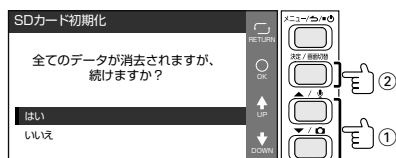
4. [▲ / 



5. [▲ / 



6. [▲ / microSD カードが初期化されます。



・フォーマットしても microSD カードエラーが表示され続ける場合は、新しい microSD カードと交換してください。

録画する・写真を撮影する

本機には、電源オン時に「常時録画」、「イベント記録」、「手動録画」、「写真撮影」の録画機能があります。

車両のエンジン「オフ」時に「駐車録画」の機能があります。

音声を記録するかしないか、メニューの「音声記録」で選ぶこともできます。(→ P.37)

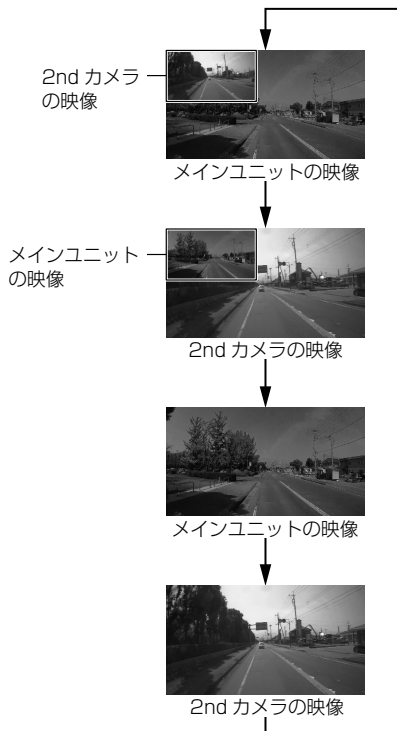
画質の種類

お買い上げ時は「1920 × 1080」に設定されています。(→ P.37)

録画可能時間は解像度の設定によって変わります。(→ P.61)

メインユニットと 2nd カメラの映像を切り替える

[決定 / 画面切替] ボタンを押すたびに映像は下記の順番で切り替わります。

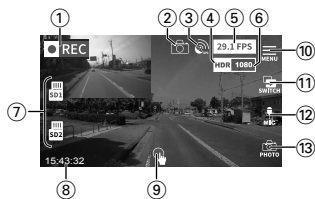


2ndカメラが接続または認識されていないときは、報知音とメッセージで通知されます。

■ 2nd カメラの映像について

- 録画時：左右反転している鏡像（バックミラーと同じ）になります。
- 再生時：正像で再生します。

録画・撮影画面のアイコン



① 録画状態

- REC : 常時録画中
- E mode : イベント記録中
- M mode : 手動録画中
- P mode : 駐車録画中

② 静止画記録状態

写真を撮影したとき、1秒程度表示されます。

③ GPS 受信状態

④ HDR 記録状態

⑤ フレームレート表示

⑥ 解像度(2560x1440、2304x1296、1920x1080、1280x720、800x480) 下線の数値を表示します。

⑦ SD カードスロット 1/2 の状態

アイコンの文字が透過 : SDカード検知
アイコンの文字が赤色 : SDカードへ録画中
アイコンが非表示 : SDカード未検知

⑧ 現在時刻

⑨ ボタンガイド(手動録画)

⑩ ボタンガイド(MENU)

⑪ ボタンガイド(メインユニットと2ndカメラの映像切替)

⑫ ボタンガイド(音声記録切替)

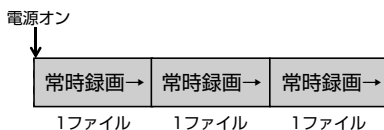
⑬ ボタンガイド(静止画撮影)

常時録画

本機の電源がオンになると、常時録画を開始します。常時録画は1ファイルごとの録画時間(1分)に分割して録画し、microSDカードの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きして常時録画を続けます。

microSDカードスロット2に別途用意したmicroSDカードを挿入し、SDカードメニューの用途を「リレー」に設定すると、microSDカードスロット1の録画領域がなくなると録画先をmicroSDカードスロット2に切り替えて常時録画を続けます。(→ P.39)

microSDカードスロット2の録画領域がなくなると、録画先はmicroSDカードスロット1に切り替わり、古いファイルから上書きして常時録画を続けます。



● 録画ファイルの保存場所

常時録画のファイルは、microSDカード内の「NORMAL」フォルダに保存されます。(→ P.29)

録画する・写真を撮影する

イベント記録

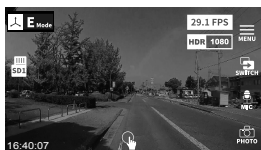
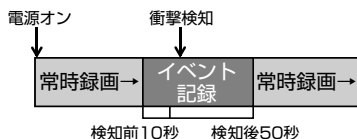
常時録画中に突発的な衝撃や予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。

イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。衝撃を検知した時点の常時録画ファイルがイベント記録ファイルとして保存されます（常時録画のファイルとしては残りません）。

イベント記録の記録時間は、衝撃検知前の10秒間と衝撃検知後の50秒間です。

イベント記録が終了する前にさらに衝撃を検知すると、そこから記録時間が1分延長されます。

1ファイルの録画時間は最大1分です。録画時間が1分を超えるとファイルを分割して録画します。



● 録画ファイルの保存場所

イベント記録のファイルは、microSD カード内の「EVENT」フォルダに保存されます。（→ P.29）



- ・ イベント記録が記録されたとき、ファイルを保存しておきたい場合は、上書きしないように microSD カードをすぐに抜いてください。
- ・ イベント記録が記録されたときは、イベント記録ファイルの後の常時録画ファイルにもイベント記録の映像が含まれていることがありますので、常時録画のファイルも必ずイベント記録ファイルと一緒に保存してください。
- ・ 上書き設定はお買い上げ時「OFF」に設定されています。記録可能ファイル数が上限になるとイベント記録ができなくなります。
- ・ 上書き設定を「ON」に設定した場合、古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

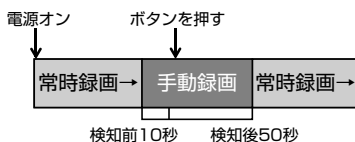
手動で録画する（手動録画）

常時録画中に [REC] ボタンを押すと、常時録画を中断して手動録画を開始します。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。

手動録画の録画時間は、[REC] ボタンを押す前の10秒間と、押した後の50秒間です。

手動録画が終了する前にもう一度 [REC] ボタンを押すと、そこから記録時間が1分延長されます。

1ファイルの録画時間は最大1分です。録画時間が1分を超えるとファイルを分割して録画します。



● 録画ファイルの保存場所

イベント記録の手動録画ファイルは、microSD カード内の「MANUAL」フォルダに保存されます。（→ P.29）保存したい映像が「MANUAL」フォルダに含まれていない場合は、直後に作成された「NORMAL」フォルダも確認してください。



- ・ フォルダやファイルの選択中、再生中、削除中、設定中、イベント記録中は手動録画はできません。
- ・ 上書き設定はお買い上げ時「OFF」に設定されています。記録可能ファイル数が上限になるとイベント記録ができなくなります。
- ・ 上書き設定を「ON」に設定した場合、古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

衝撃を検知する
感度

お買い上げ時は「3」に設定されています。設定については、「動画・静止画記録設定」の「衝撃検知感度」をご覧ください。（→ P.37）

駐車録画

駐車録画機能を使用するには、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR100 (別売品) の電源接続が必要になります。

エンジンをオフにすると駐車録画機能が待機中になり、車両の衝撃を監視します。

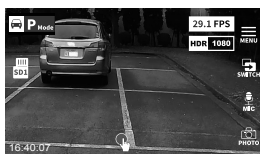
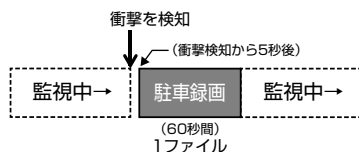
車両の衝撃を検知すると、駐車録画が開始されます。

駐車録画が終了すると、再び監視を開始します。

駐車録画は衝撃を検知してから 5 秒後に録画が始まります。*

駐車録画ファイルの録画時間は 60 秒間です。

*お買い上げ時の解像度、フレームレート、microSD カード (32GB) を使用した場合



● 乗車 / 降車時の駐車録画を無効にする

乗車 / 降車時のドアを閉めたときの振動を検知して、駐車録画が動作することがあります。乗車時 / 降車時のドアの振動を検知しても駐車録画を行わないようにするため、駐車録画を一定時間無効にすることができます。

開始時間 (降車時) は、OFF (お買い上げ時の設定) / 30 秒間 / 1 分間 / 3 分間から選択できます。

停止時間 (乗車時) は、OFF (お買い上げ時の設定) / 1 分間 / 2 分間 / 3 分間から選択できます。

(→ P.37)

● 録画ファイルの保存場所

駐車録画のファイルは、microSD カード内の「PARKING」フォルダに保存されます。

(→ P.29)



- 車両のエンジンスイッチをオフにする前に、本機の電源ボタンで電源をオフにしたときは、駐車録画は動作しません。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合、駐車録画は動作しないことがあります。
- 駐車録画中はモニター画面に映像が表示されません。
- 駐車録画が行われた場合は、電源オン時に音声ガイダンスとモニター表示でお知らせします。
- 上書き設定はお買い上げ時「OFF」に設定されています。録画可能ファイル数が上限になるとイベント記録ができなくなります。
- 上書き設定を「ON」に設定した場合、古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

録画する・写真を撮影する

写真を撮影する（静止画記録）

録画中に [▼/📷] ボタンを押すと、静止画を撮影します。

記録可能ファイル数が上限になると、古いファイルから自動で上書きされます。



カメラアイコン

● 写真の保存場所

写真は、microSD カード内の「PICTURE」フォルダに保存されます。(→ P.29)



- ・録画中に写真を撮影しても録画は中断されません。
- ・ファイル再生中やメニュー設定中など録画をしていない状態のときは、写真撮影はできません。

写真の解像度	お買い上げ時は「1920 × 1080」に設定されています。設定については、「動画・静止画記録設定」の「解像度」をご覧ください。(→ P.37)
--------	--

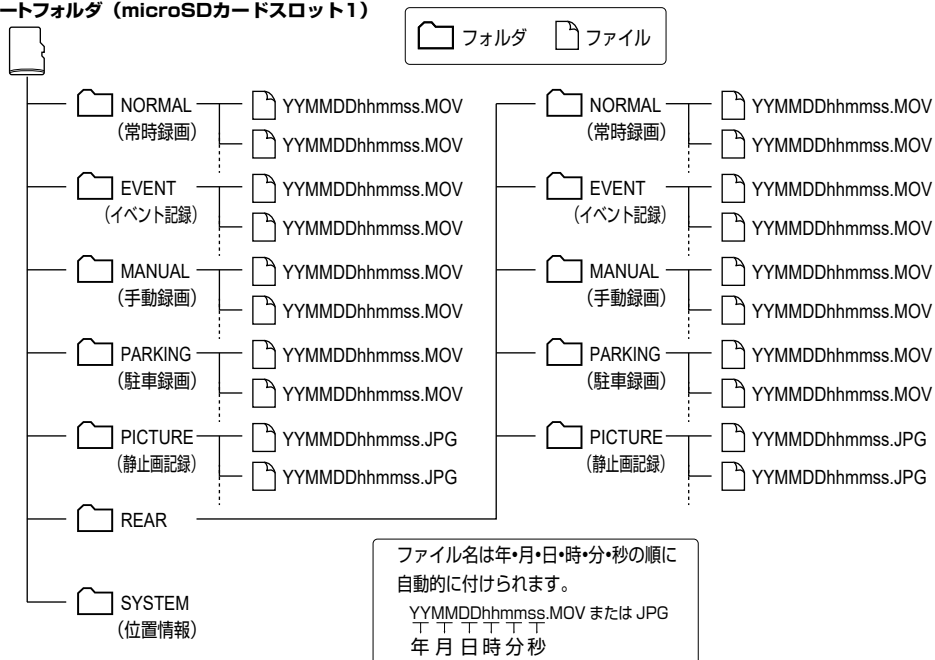
フォルダ / ファイル構成

microSD カードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。

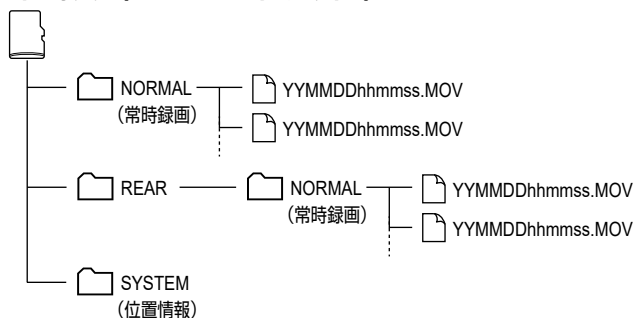
microSD カード内にあるファイル名をパソコンなどで変更しないでください。本機や KENWOOD DRIVE REVIEWER DC で正しくファイルを再生できなくなります。

システムファイルには位置情報などが含まれています。システムファイルだけを削除するとファイルの位置情報が使用できなくなります。

ルートフォルダ (microSDカードスロット1)



ルートフォルダ (microSDカードスロット2) *

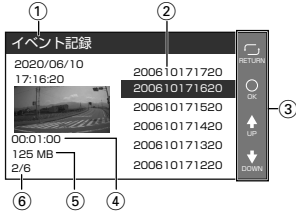


*SD カードメニューの用途を「コピー」に設定している場合は、ルートフォルダ (microSD カードスロット2) は、ルートフォルダ (microSD カードスロット1) と同じ構成になります。

再生する

ファイル選択画面のアイコン

再生時の 2nd カメラ映像は、録画中の画面表示と異なり正像で再生されます。



① 録画の種類

録画の種類を表示します

② 年月日時分秒

録画日時を表示します

③ ボタンガイド

操作ボタンの機能を表示します

④ 録画時間

録画の時間を表示します

⑤ 録画容量

録画の容量を表示します

⑥ ファイルの順番 / ファイル総数

録画ファイルの最新ファイルからの順番 / ファイル総数を表示します

ファイルを再生する

録画ファイルや写真ファイルなどのファイルを選択して再生します。

1. [メニュー / 左 / 右] ボタンを押す

メニューが表示されます。



2. [▲ / 音声] または [▼ / 静止画] ボタンで「ファイル再生」を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す



3. [▲ / 音声] または [▼ / 静止画] ボタンで再生したいフォルダを選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す



それぞれのフォルダには以下のファイルが保存されています。

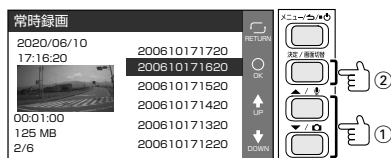
常時録画	常時録画されたファイル
イベント記録	イベント記録されたファイル
手動録画	手動録画されたファイル
駐車録画	駐車録画されたファイル
静止画	撮影した写真 (静止画記録) のファイル

選択したフォルダ内にあるファイルリストが表示されます。



- ・ファイルは、録画または撮影した時間順に並びます。

4. [▲/🔊] または [▼/📷] ボタンで再生したいファイルを選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す



選択したファイルの再生が始まります。

■ ファイルを削除 / コピーする

1. 「ファイルを再生する」の手順 4. の画面で、[▲/🔊] または [▼/📷] ボタンで削除またはコピーしたいファイルを選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを長押しする

操作メニューが表示されます



2. [▲/🔊] または [▼/📷] ボタンで操作したい項目を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す



- 削除を選択すると、「削除しますか?」と表示されます。「はい」を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押すと選択したファイルが削除されます。
- スロット2へコピーの操作メニューは、SDカードメニューの用途を「コピー」に設定している場合に表示されます。

再生中のファイル进行操作する

ファイルの再生中は以下の操作ができます。

一時停止 / 再生

[決定 / 画面切替] ボタンを押すと表示中のファイルを再生 / 一時停止します。

(録画したファイルの場合のみ)

2nd カメラ映像とメインユニット映像の切り替え

[REC] ボタンを押すとメインユニットと2ndカメラの映像を切り替えます。

(2nd カメラを接続して録画したファイルの場合のみ)

他のファイルを選択する

[▲/🔊] ボタンを押すと次のファイル、[▼/📷] ボタンを押すと前のファイルを再生します。

運転支援機能を使う

本機には 5 つの運転支援機能があります。運転支援機能を使用するには、各機能の設定を「ON」に変更する必要があります。(→ P.35)

前方衝突警告 *	走行中に前方車両との距離が 15m 未満、または約 5km/h 以上の速度差がある状態で接近したときに、警告音を鳴らして画面に警告文を表示します。30km/h 以上で走行中に動作します。
車線逸脱警告 *	走行中の車線を逸脱したときに警告音を鳴らし、画面に警告文を表示します。60km/h 以上で走行中に動作します。逆光、雨天、走行レーンの汚れなど、条件によっては正しく動作しません。
発進遅れ警告 *	信号などで停車中に前方車両が発進して離れてしまったときに約 1.5 秒後に警告音を鳴らし、画面に警告文を表示します。交差点などで先頭に停車した場合、前方を横切る人や車両に反応する場合があります。
後方車異常接近警告 *	後方車両が異常に接近してきたときに警告音を鳴らし、画面に警告文を表示、およびイベント記録を開始します。逆光、雨天、車の色が識別困難なときなど、条件によっては正しく動作しません。
後方車蛇行運転警告 *	後方車両が蛇行運転をして接近してきたときに警告音を鳴らし、画面に警告文を表示、およびイベント記録を開始します。逆光、雨天、車の色が識別困難なときなど、条件によっては正しく動作しません。

* 警告音 / 音声をオフにしたいときは「システム設定」の「報知音」を「OFF」に設定してください。(→ P.38)

運転支援機能についてのご注意

- 車両を平らで見通しの良いところに駐車して、カメラの角度と向きを必ず調整してください。また、カメラの位置がずれると、運転支援機能は正しく動作しません。調整後はカメラをしっかりと固定してください。
- 運転中にドライバーが調整することは絶対にしていただきません。安全な場所に停車して調整するか、同乗者が調整するようにしてください。
- 運転支援機能はドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。また、すべての危険を警報するものではありません。
- 運転時は交通ルールを守り、前方車両との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意し、必要に応じてブレーキをかけるなど安全運転に努めてください。また、本機の取扱説明書に従って正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 車線逸脱警告はウィンカーと連動しないため、本機の仕様上、道路で車線を変更するときにも警告音が鳴ります。
- 以下のような場合は、運転支援機能が正しく動作しない場合があります。
 - 舗装の劣化や降雨時の反射、建物の影などにより車線が正しく認識できない場合。
 - 車両の形状や色、光の加減などによって、検知すべき車両が認識できない場合。
 - 天候（雨・雪・濃霧・ワイパーの使用など）、時間帯（朝方・夕方・夜間など）、逆光、交通状況（渋滞・歩行者など）による変化。
 - フロントガラスに映り込みがあると正しく動作しないことがあります。ダッシュボードに物などを置かないでください。

前方検出範囲を設定する

「車線逸脱警告」、「前方衝突警告」、「発進遅れ警告」を使用する場合は、「前方検出範囲」の設定が必要です。

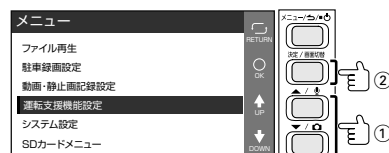
1. 見通しの良い、平らで安全な場所に車両を停車する

2. [メニュー / / /] ボタンを押す

メニューが表示されます。



3. [/] または [/] ボタンで「運転支援機能設定」を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す



4. [/] または [/] ボタンで「前方検出範囲」を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す



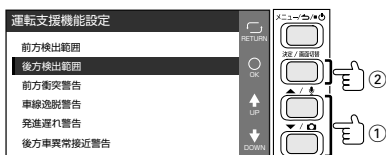
運転支援機能を使う

5. 前方の検出範囲を調整して、[メニュー/↵ / ■○] ボタンを押す

メインユニットを上下に傾けて、赤線を道の先端（地平線）に合わせます。
メインユニットを左右に動かして、黄枠に走行車線が入るように合わせます。



4. [▲/🔊] または [▼/📷] ボタンで「後方検出範囲」を選択し、[決定/画面切替] ボタンを押す



後方検出範囲を設定する

「後方車異常接近警告」、「後方車蛇行運転警告」を使用する場合は、「後方検出範囲」の設定が必要です。

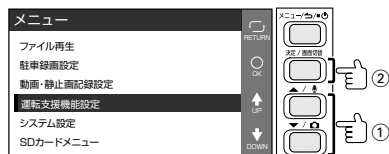
1. 見通しの良い、平らで安全な場所に車両を停車する

2. [メニュー/↵ / ■○] ボタンを押す

メニューが表示されます。



3. [▲/🔊] または [▼/📷] ボタンで「運転支援機能設定」を選択し、[決定/画面切替] ボタンを押す



5. [▲/🔊] または [▼/📷] ボタンで赤枠を操作して後方の検出する範囲に合わせ、[決定/画面切替] ボタンを押す





6. [▲/🔊] または [▼/📷] ボタンで黄線を操作して後方の検出する位置に合わせ、[メニュー/↵ / ■○] ボタンを押す







運転支援機能をオン/オフする

1. [メニュー/  / ] ボタンを押す
メニューが表示されます。






2. [ / ] または [ / ] ボタンで「運転支援機能設定」を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す



3. [ / ] または [ / ] ボタンでオンにしたい運転支援機能を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す



4. [ / ] または [ / ] ボタンで「ON」を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す
運転支援機能の設定が完了します。



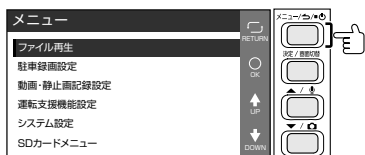
5. 他の機能を設定する場合は、手順 3 と 4 を繰り返す

設定を変更する

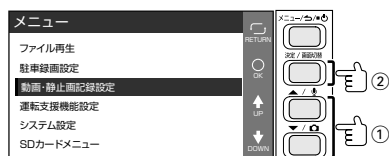
各機能の設定を変更する

本機の設定を変更することができます。

1. [メニュー/ / /] ボタンを押す
メニューが表示されます。



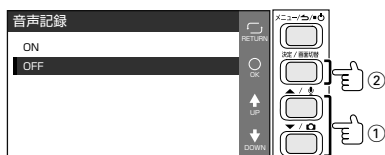
2. [▲/] または [▼/] ボタンで設定を変更したいメニューを選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す
選択したメニューが表示されます。



3. [▲/] または [▼/] ボタンで設定を変更したい項目を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す
選択した項目が表示されます。



4. [▲/] または [▼/] ボタンで設定を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す
設定が変更されます。



各項目の内容については、「メニューの一覧」をご覧ください。(→ P.37)



- 常時録画に戻るには、[メニュー/ / /] ボタンを録画画面になるまで押します。

メニューの一覧

*お買い上げ時の設定

■ ファイル再生	
常時録画	フォルダを選択して目的のファイルを再生します。また、ファイル再生中には、ファイルのコピー、メインユニットの映像と 2nd カメラの映像の切り替え、削除などを行うことができます。(→ P.31)
イベント記録	
手動録画	
駐車録画	
静止画	

■ 駐車録画設定	
駐車モード設定	ON/OFF* 駐車モード機能を設定します。
上書き保存	ON/OFF* 録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
開始時間 (降車時)	OFF*/30 秒間 /1 分間 /3 分間 エンジンキーをオフにしてから駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
停止時間 (乗車時)	OFF*/1 分間 /2 分間 /3 分間 エンジンキーをオンにする前の駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
衝撃検知感度	1/2/3*/4/5 駐車録画の衝撃検知の感度「1」～「5」を設定します。 1 (大きな衝撃で検知) ↔ 5 (小さな衝撃で検知)

■ 動画・静止画記録設定	
音声記録	ON*/OFF 録画時の音声記録機能の設定をします。
解像度	2560 × 1440/2304 × 1296/1920 × 1080*/1280 × 720/800 × 480 常時録画 / イベント記録 / 手動録画 / 駐車録画 / 静止画の画質を設定します。
フレームレート	29.1fps*/9.7fps/3.2fps 録画での映像の更新頻度を設定します。数字が小さいほど録画時間が増えます。
上書き保存 (イベント)	ON/OFF* 録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
上書き保存 (手動)	ON/OFF* 録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
衝撃検知感度 (イベント)	1/2/3*/4/5 イベント記録の衝撃検知の感度「1」～「5」を設定します。 1 (大きな衝撃で検知) ↔ 5 (小さな衝撃で検知)
リアスモークガラス	無し*/薄め/濃いめ リアガラスの色の濃さに合わせて記録映像の明るさを設定します。

設定を変更する

■ 運転支援機能設定	
前方検出範囲	運転支援機能を正しく機能させるためにメインユニットの位置を調整します。 (→ P.33)
後方検出範囲	運転支援機能を正しく機能させるために2ndカメラの位置を調整します。(→ P.34)
前方衝突警告	ON/OFF* 走行中、前方車両に接近したときに警告音と警告表示でお知らせする機能を設定します。
車線逸脱警告	ON/OFF* 走行中に車線を逸脱したときに警告音と警告表示でお知らせする機能を設定します。
発進遅れ警告	ON/OFF* 停車時に前方車両が発進して離れたときに警告音と警告表示でお知らせする機能を設定します。
後方車異常接近警告	ON (警告) / ON (警告 + 録画) / OFF* 後方車両が異常に接近してきたときに警告音と警告表示でお知らせする機能、およびイベント記録を開始する機能を設定します。
後方車蛇行運転警告	ON (警告) / ON (警告 + 録画) / OFF* 後方車両が蛇行運転をして接近してきたときに警告音と警告表示でお知らせする機能、およびイベント記録を開始する機能を設定します。
後方蛇行運転警告速度	30km/h / 50km/h / 70km/h* 後方車両の蛇行運転の検出を有効にする速度を設定します。



・ 駐車録画機能を有効にするには、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR100 (別売品) の電源接続が必要になります。(→ P.21)

■ システム設定	
日付 / 時刻	自動調整* / 手動調整 「自動調整」の場合は「タイムゾーン」が「GMT+09 : 00」に設定されています。そのままの設定でご使用ください。「手動調整」は日付と時刻を手動で設定できます。 [▲/🕒]または[▼/🕒]ボタンで数値を変更して[決定 / 画面切替]ボタンで確定します。GPS 信号を受信すると日付 / 時刻は自動で設定されます。
報知音	ON* / OFF 警告音およびボタン操作時の操作音を設定します。
言語 / Language	日本語* / English メニュー画面などの表示言語を切り替えます。
モニター画面節電設定	時間設定 10 秒* / 1 分 / 3 分 常時録画や駐車記録モード中に操作をしていないときの画面が節電に移行するまでの時間を設定します。
	動作設定 常時点灯* / 消灯 / 暗くする 常時録画や駐車記録モード中に操作をしていないときの画面の節電動作を設定します。設定した動作を一時的に解除するには、本機のいずれかのボタンを押します。
設定初期化	はい / いいえ* 「はい」を選択すると、本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 ※ 用途 (スロット2) がリレーまたは、コピーに設定されている場合は、microSD カードのデータも全て初期化されます。
情報スタンプ記録	ON* / OFF 日時や位置情報などの字幕記録をするかしないかを設定します。
システム更新	本機のファームウェアを更新します。
システムバージョン	本機のファームウェアのバージョンを表示します。

■ SD カードメニュー

SD カード初期化	はい / いいえ* 「はい」を選択すると、microSD カードを初期化して、全てのファイルを消去します。 ※ 用途 (スロット2) がリレーに設定されている場合は、microSD カードをスロット 1 および、スロット 2 の両方に挿入してから初期化してください。初期化するスロットを選択することはできません。
用途 (スロット 2)	リレー / コピー / 使用しない* microSD カードスロット 2 に挿入した microSD カードの用途を設定します。 リレー：常時録画で microSD カードスロット 1 の録画領域がなくなると、録画先を microSD カードスロット 2 に切り替えて常時録画を続けます。 コピー：microSD カードスロット 1 に挿入された microSD カードのデータを個別に選択して、microSD カードスロット 2 に挿入した microSD カードにコピーすることができます。(microSD カードスロット 2 で使用する microSD カードは、別途ご用意ください。) ※ 用途 (スロット 2) の設定を変更すると、microSD カードスロット 1 / microSD カードスロット 2 に挿入した microSD カードのフォーマットが必要になる場合があります。必要なファイルがある場合は設定を変更する前にパソコンなどに保存してください。
SD カード情報 (スロット 1)	スロット 1 の microSD カード情報画面を表示します。
SD カード情報 (スロット 2)	スロット 2 の microSD カード情報画面を表示します。



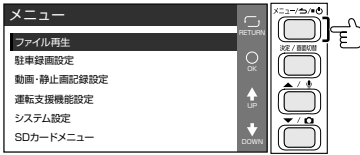
- microSD カードの書き換え寿命状態は、本機に付属の SD カードおよび当社推奨 (当社製寿命告知機能対応) SD カード使用時のみ表示します。
- SD カードの書き換え寿命状態は 4 種類の表示があります。
正常 (SD カードの状態は良好です。)
注意 (SD カードの書き換え寿命が近づいてきています。新しい SD カードへの交換を推奨します。)
警告 (SD カードへの書き換え寿命に到達しました。新しい SD カードへの交換を推奨します。)
不明 (推奨外の SD カードです。状態は不明です。)

設定を変更する

日付と時刻を設定する

日付と時刻を設定します。

1. [メニュー/ /] ボタンを押す
メニューが表示されます。



2. [/] または [/] ボタンで「システム設定」を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す



3. [/] または [/] ボタンで「日付 / 時刻」を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す



4. [/] または [/] ボタンで項目を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す



自動調整	測位衛星から受信した時刻によって、自動で日付と時刻を設定します。
手動調整	手動で日付と時刻を設定します。

自動調整の場合は、ここで終了になります。

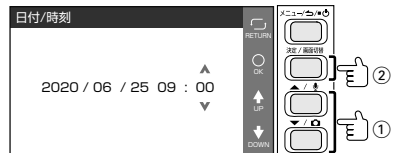


- ・自動調整に設定した場合、測位衛星の信号が正常に受信できるまでは正しい時刻に設定されないことがあります。

5. [/] または [/] ボタンで日時を入力し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す
ひとつ前の動作に戻るには [メニュー/ /] ボタンを押します。



6. <分>にカーソルがある状態で [決定 / 画面切替] ボタンを押す



- ・手動調整は GPS 信号を受信できない場合など、正しい時刻に設定されないときに手動で日付と時刻を設定する機能ですが、GPS 信号を受信すると日付 / 時刻は自動で設定されます。

リアスモークガラスの設定を変更する

リアスモークガラスの濃さに合わせて、録画映像の明るさを調整できます。リアスモークガラスの設定は「無し」、「薄め」、「濃いめ」の3つから選択できます。

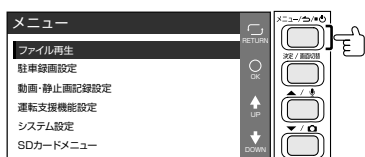
お買い上げ時は「無し」に設定されています。



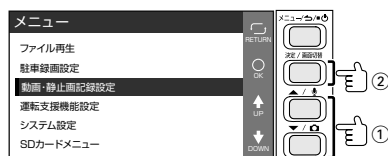
- リアガラスの色が濃い場合、またはフィルムを貼っている場合、「無し」の状態で使用していると暗いところや夜間の映像が暗く録画されません。

1. [メニュー] ボタンを押す

メニューが表示されます。



2. [▲/⊕] または [▼/⊗] ボタンで「動画・静止画記録設定」を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す



3. [▲/⊕] または [▼/⊗] ボタンで「リアスモークガラス」を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す



4. [▲/⊕] または [▼/⊗] ボタンで設定を選択し、[決定 / 画面切替] ボタンを押す リアスモークガラスの設定が変更されます。



ビューアソフトを使う

パソコン用専用ビューアソフト「KENWOOD DRIVE REVIEWER DC」では以下の機能が使えます。

- ・録画ファイルの再生
- ・ファイルのバックアップ

KENWOOD DRIVE REVIEWER DC の動作環境

Windows版	Windows 8.1 (32Bit/64Bit) Windows 10 (32Bit/64Bit) Windows10 mobileは除く
Mac OS X版	Apple Mac OS X 10.11 (El Capitan)以上
パソコンのスペック	CPU：Intel Core i3 2GHz 以上 フロント/リア同時再生時は Core i5(4コア) 2.5GHz 以上推奨 メモリ：4GB 以上 解像度 2304×1296 以上の設定で再生時は 8GB 以上推奨 ディスプレイ：1280×800 以上 サウンド：Windowsで使用可能なPCMサウンド再生機能

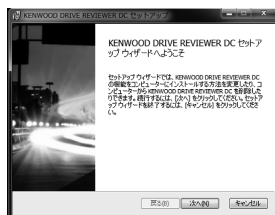
* 本機ご購入時点に対応している OS であっても、今後の Windows/Mac の OS 更新に伴い、対応外となる場合があります。



- ・地図表示機能を使用する場合は、インターネットに接続できる環境が必要です。
- ・ご使用のパソコンによっては、再生時に映像が乱れたり音声途切れたりする場合があります。その場合は、ビューアソフトを終了させ、再度ビューアソフトを起動して映像を再生してください。
- ・ご使用のパソコンの環境によっては、ファイルの再生ができない場合があります。

ビューアソフトをインストールする

1. <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> にアクセスして型名を選んでインストーラーをダウンロードする
2. パソコンにダウンロードしたアプリケーションソフトのインストーラーをパソコン内の任意の場所（デスクトップなど）にコピーする
3. コピーしたアプリケーションソフトのインストーラーをダブルクリックする
4. セットアップウィザード画面の指示に従ってインストールする



ユーザアカウント制御の警告が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

5. 「完了」をクリックする
インストールが完了します。

■アプリケーションを起動する

1. microSD カードを本機から取り外し、付属のSDカード変換アダプターに挿入してから、カードリーダーを使用してパソコンに接続する
2. 「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「KENWOOD DRIVE REVIEWER DC」をクリックして起動する



・「KENWOOD DRIVE REVIEWER DC」を使用するときには他のアプリケーションは閉じてください。同時に立ち上げていると動作が遅くなることがあります。

再生する

1. microSD カードを接続しているドライブを指定する



映像が表示され再生が始まります。



・再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりする場合があります。その場合は、ビューアソフトを終了させ、再度ビューアソフトを起動して映像を再生してください。





■画面の操作



ビューアソフトを使う

① 拡大表示機能

再生している映像画面の上下左右の場所を拡大したり、任意の場所を拡大表示します。

	拡大表示したときに押すと、通常画面に戻ります。
	画面中央、左上、右上、左下、右下を拡大（2倍）表示します。
	表示される枠（①）を拡大したい位置に動かして、拡大率（②）をクリックするたびに1倍 / 2倍 / 3倍 / 4倍 / 5倍で拡大表示します。 [リセット]（③）を押すと等倍表示になります。
	リアカメラの映像の左右が反転します。

② メニュー ファイル

開く	フォルダを選択する	読み込むファイルが入っているフォルダを選択します。
	kmz/kml* にエクスポート	Google Earth プロに読み込むためのデータを出力します。
	バックアップ	データをバックアップします。
終了	ビューアソフトを終了します。	

*kmz ファイルまたは kml ファイルは Google Earth プロに読み込むためのデータです。

（ドライブ一覧）
microSD カードのドライブを選択します。

ヘルプ

バージョン	ビューアソフトのバージョンが確認できます。
-------	-----------------------

③ 映像再生画面

映像を再生または表示する画面です。

④ トラックバー / 再生時間







動画情報の再生位置を示します。再生位置に応じて、地図およびグラフの現在位置を更新します。

00:00:12/00:02:00

再生時間 / 総再生時間





⑤ 小画面表示ボタン

	③映像再生画面に小画面を表示しています。 クリックすると  に切り替わり小画面表示を消します。
	③映像再生画面の小画面表示が消えています。 クリックすると  に切り替わり③映像再生画面に小画面を表示します。











・小画面に表示される映像は④の再生ファイル選択ボタンで選んでいない方の映像を表示します。

⑥ 再生ファイル選択ボタン

	①種類別一覧にフロントカメラのファイルを表示しています。 ボタンを押すと  に切り替わりリアカメラのファイルを表示します。
	①種類別一覧にリアカメラのファイルを表示しています。 ボタンを押すと  に切り替わりフロントカメラのファイルを表示します。

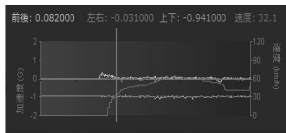
⑦ 再生操作ボタン

	前 / 次のファイルを再生します。
	前 / 次のコマを表示します。
	再生を停止します。
	再生します。
	一時停止します。
	クリックすると再生中の動画を静止画として保存します。
	⑤小画面を表示していないときは、クリックするたびに X1・X2・X4・X8・X1/2 と再生速度が切り替わります。 ⑤小画面を表示しているときは、クリックするたびに X1・X2・X1/2 と再生速度が切り替わります。再生速度は最大2倍になります。
	音量を調整 (0 ~ 100) します。

ビューアソフトを使う

⑧ グラフ

再生中の動画ファイルに対応した加速度 (G) の大きさと速度の折れ線グラフです。



・表示している加速度 (G) および速度は実際と異なる場合があります。

⑨ 再生中のファイルのパス

再生中のファイルの格納場所を表示しています。



⑩ スピードメーター

再生している動画ファイルの車両速度を表示します。



・録画中にトンネルを走行しているときなど GPS が受信できない状態で約 15 秒続くと車両速度の表示は 0 (ゼロ) になります。

・表示している車両速度はあくまで目安です。

⑪ 種類別一覧

表示をクリックすると③映像再生画面に録画または記録された映像が表示され、再生が開始されます。



「ファイル」、「静止画」の場合：記録開始日時 / ファイルの格納場所

「イベント」の場合：記録開始日時 / イベント名

①ファイル

すべての動画ファイルの一覧を表示します。

②イベント

手動録画、イベント（衝撃）記録、駐車録画のファイルの一覧を表示します。

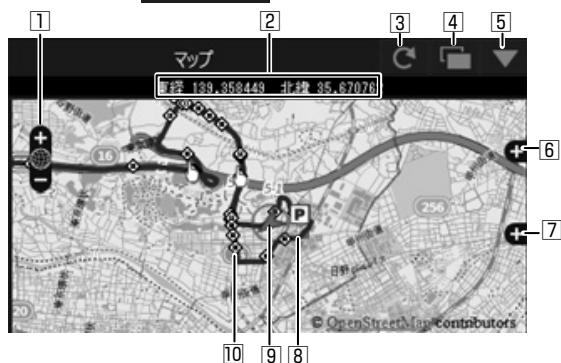
③静止画

静止画ファイルの一覧を表示します。

⑫ 地図表示ボタン

⑪種類別一覧から見たいファイルをクリックすると、選択した動画ファイルの位置情報が地図上に表示されます。

地図が表示されていないときは **マップ ▲** をクリックしてください。



① 地図を拡大 / 縮小します。

② 緯度・経度を表示します。

③ 地図を再読み込みします。

④ 地図を別ウィンドウで開きます。

⑤ 地図を非表示にします。 **マップ ▲** をクリックすると地図を表示します。

⑥ 地図上に表示される経路やアイコンの表示・非表示を選択できます。

⑦ 広域の地図で表示します。

⑧ 経路

2日以上の経路を表示しているときは、日ごとに色を変えて表示します。

→1日目 青 → 2日目 赤 → 3日目 緑 → 4日目 白 → 5日目 マゼンタ → 6日目 水色 → 7日目 黄色 →

⑨ 選択中のファイルの自転車位置を表示します。

⑩ 各ファイルの先頭位置

アイコンにマウスカーソルを合わせるとファイルの先頭位置の映像が表示されます。クリックすると該当ファイルを再生します。



• microSD カードの容量 (常時録画) またはファイル数の制限 (手動録画、イベント (衝撃) 記録、駐車録画) によりファイルが消去されます。消去されたファイルについては地図上に表示されません。

• 起動直後やビル街、トンネル、高架下などの受信環境が悪い場所の走行や GPS 衛星の状態によっては、GPS の情報が正常に受信できずに、地図上での自転車位置ずれや速度、経路が正しく表示されないことがあります。

• 地図を表示するには、インターネットに接続する必要があります。

ビューアソフトを使う

Google Earth プロで使用するデータを出力して読み込む

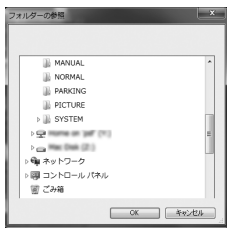


データを出力する前に、お使いのパソコンに Google Earth プロ (パソコン向け) をインストールしてください。Google Earth プロ は、Google のサイトからダウンロードできます。

1. microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
2. ビューアソフトを起動する
3. メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



4. microSD カードの Google Earth プロで使用するデータを出力するデータのフォルダを選ぶ



5. メニューの「ファイル」－「kmz/kml にエクスポート」をクリックする



6. 保存先を選択し、保存するファイル名を入力して、「保存」をクリックする



kmz は kml ファイルを zip 圧縮したものです。どちらのファイルでも Google Earth プロで読み込むことができます。

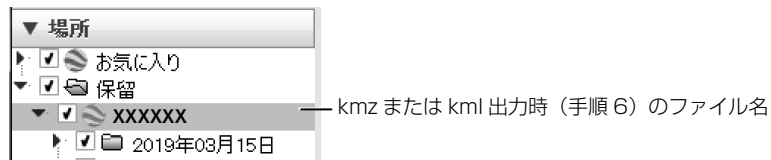
7. 「出力が完了しました」と表示されたら「OK」をクリックする

8. Google Earth プロ (Google Earth Pro) を起動する

9. 出力したファイルを開く



開くと画面左側に保留フォルダと保存したデータのファイル名が表示されます。
ファイル名をクリックすると保存したデータが表示されます。



フォルダの✓点を外すと外したデータの表示が地図から消えます。



• Google Earth プロの操作については Google Earth プロのヘルプなどをご覧ください。

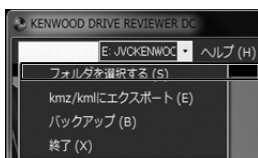
ビューアソフトを使う

microSD カードのデータをパソコンにバックアップする

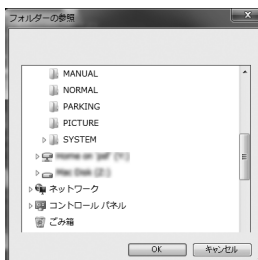
microSD カードは容量の関係から、保存しておける映像の数が限られています。microSD カード内の必要な映像データはパソコンのハードディスクなどに定期的にバックアップしてください。ビューアソフトを使って microSD カードのデータをバックアップすると、位置情報などのシステムファイルと関連付けたまま保存することができます。

■バックアップフォルダを設定する

1. microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
2. ビューアソフトを起動する
3. メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



4. microSD カードのバックアップをするデータが入っているフォルダを選ぶ



5. メニューの「ファイル」－「バックアップ」をクリックする



6. バックアップするファイルにチェックを付けて、「実行」をクリックする



ファイル

最初はすべてのファイルに "✓" 点が付いています。

バックアップしないデータは "✓" 点をクリックして選択を解除してください。



- 「全解除」をクリックするとすべての "✓" 点が解除されます。
- 「全選択」をクリックするとすべてに "✓" 点が付きます。
- バックアップデータのフォルダ名はバックアップをクリックしたときの日時になります。変更したい場合は「作成するフォルダ名」を書き替えることができます。
- 「変更」をクリックするとバックアップ先を変更することができます。

7. メッセージが表示されたら「はい」をクリックする



- バックアップの保存先を設定していない場合は、「マイビデオ」または「ビデオ」（ご使用の Windows のバージョンによって異なります）に設定されています。

■バックアップした映像を見る

1. ビューアソフトを起動する

2. メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



3. バックアップしたデータのフォルダを選ぶ

4. 見たい映像ファイルのフォルダを選択する

再生画面が表示され、動画ファイルを再生することができます。

故障かな？と思ったら

次の一覧から該当する症状、または表示されるメッセージを見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

FAQ (よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

「故障かな？と思ったら」と合わせてこちらもご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq>

共通

症状	原因 / 対処方法
電源がオンにならない / シガープラグコードのインジケーターが点灯していない	<ul style="list-style-type: none">・本機に電源が供給されていない。✓ シガープラグ側の差し込みと、本体側の差し込みを確認してください。(→ P.18)・ヒューズが切れている。✓ お買い上げの販売店にご相談ください。
動作が不安定になっている	<ul style="list-style-type: none">✓ 本体の電源を一度オフにし、再びオンにしてください。(→ P.22)
microSD カードを認識しない	<ul style="list-style-type: none">・ microSDカードスロットにmicroSDカードが入っていない。✓ microSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してください。(P.13、P.22)・ 本機で使用できないファイルシステムでフォーマットされたmicroSDカードが挿入された。✓ FAT32でフォーマットされたmicroSDカードをご使用ください。(→ P.13)・ microSDカードがフォーマットされていない。✓ フォーマットを行ってからご使用ください。(→ P.23)・ microSDカードの読み込み/書き込みができなくなっている。・ フォーマットしてもmicroSDカードエラーが表示される。✓ microSDカードをフォーマットしてください。(→ P.23)それでも症状が改善しない場合は、microSDカードを交換してください。
録画ファイルが見つからない	<ul style="list-style-type: none">・ 録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた。✓ 必要な録画ファイルをパソコンに保存してから録画を開始してください。・ 16GBより容量が少ないため録画ファイルを作成できない。✓ 容量が16GB ~ 128GBのmicroSDカードをご使用ください。(→ P.13)
録画されたファイルの映像が鮮明でない	<ul style="list-style-type: none">・ レンズが汚れている。✓ 柔らかい布などで乾拭きしてください。
<ul style="list-style-type: none">・ 2ndカメラの映像が映らない・ 2ndカメラの映像にノイズがはいる	<ul style="list-style-type: none">・ 2ndカメラが正しく接続されていない。・ 車外後方撮影用カメラケーブルが途中でかみ込みなどで断線している。✓ 2ndカメラの接続を確認してください。(→ P.18)✓ 車外後方撮影用カメラケーブルの配線を確認してください。・ 車外後方撮影用カメラケーブルのコネクタ(L型/ストレート型)の端子が汚れている。配線時などに汚れた。✓ 汚れをふき取ってください。
録画が中止され電源が切れる	<ul style="list-style-type: none">・ 本機内部の温度が高温になっている。✓ 本機には温度保護回路機能が搭載されています。車内の温度をさげてください。保護回路が解除され電源が入り、録画を開始します。

駐車録画

症状	対処方法
駐車録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> 別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR100を使用していない。 ✓本機の駐車録画機能を有効にするには別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR100が必要になります。CA-DR100を接続してください。(→ P.21) 「駐車モード設定」が「ON」になっていない。 ✓「駐車モード設定」で駐車モードを「ON」に設定してください。(→ P.37) 本機に記憶している取り付け位置情報が正しくないため、車両停止を検知できない。 ✓正しい位置を記憶させるため、一度電源を入れ直してください。(→ P.22)
画面が表示されたままになっている	<ul style="list-style-type: none"> 「モニター画面節電設定」が「常時点灯」に設定されている。 ✓「モニター画面節電設定」を「常時点灯」以外に設定してください。(→ P.38)
録画ファイルが見つからない	<ul style="list-style-type: none"> 駐車録画中に衝撃を複数回検知したため、常時録画に切り替わった。 ✓録画ファイルは「NORMAL」フォルダに保存されます。「NORMAL」フォルダをご確認ください。(→ P.29)
駐車録画が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> microSDカード内のデータが多すぎる。 ✓microSDカード内のデータが10時間分よりも多い場合は記録開始まで5秒以上かかる場合があります。データをパソコンなどに保存(コピー)し、microSDカードを本機でフォーマットしてください。

イベント記録

症状	対処方法
車両に衝撃がないときにイベント記録の警告音が鳴り続けている	<ul style="list-style-type: none"> 電源オン時のGセンサーの補正值が正しく設定されていない。 急な坂道を走行している。 正しい位置に取り付ける前に電源をオンにした。 ✓本機を正しい位置に取り付けてから電源をオフ/オンしてください。 ✓平らな状態で電源を入れ直してください。 ✓動画・静止画記録設定の「衝撃検知感度」で衝撃検知の感度を下げてください。(→ P.37)
残したい映像が見つからない	<ul style="list-style-type: none"> 残したい映像がイベント記録時間に収まらなかった。 ✓常時録画を保存しているフォルダから、イベント記録後に作成されたファイルを確認してください。

運転支援



症状	対処方法
運転支援機能が正しく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 調整がずれている。 ✓「運転支援機能を使う」を参照して、検出範囲を再設定してください。(→ P.33、P.34) 雨の日や夜間に走行している。 ✓雨の日、夜間など、環境により正しく動作しないことがあります。 衛星の信号を受信できない。 ✓衛星の信号を受信できていないと、速度や車間距離などが正しく測度できないため、機能が正しく動きません。










故障かな？と思ったら




KENWOOD DRIVE REVIEWER DC

症状	対処方法
2nd カメラの映像がメインユニットの映像とリンクして再生されない	<ul style="list-style-type: none"> 最新のソフトウェアを使用していない。 ✓最新のソフトウェアをダウンロードしてください。(→ P.42)

表示メッセージと音声ガイド

 表示メッセージ /  音声ガイド

メッセージ	対処方法
  SD カードがありません	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードスロットにmicroSDカードが挿入されていない。 ✓「microSDカードについて」を参照して、本機で使用可能なmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してください。(→ P.13) SDカードメニューの用途を「リレー」に設定している。 ✓リレー録画を行わない場合は「使用しない」または「コピー」に設定してください。 microSDカードの端子が破損している。 ✓新しいmicroSDカードに交換してください。
  SD カードエラーです	<ul style="list-style-type: none"> 認識できないmicroSDカードが挿入されている。 ✓「microSDカードについて」を参照して、本機で使用可能なmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してください。(→ P.13) microSDカードの端子が破損している。 ✓新しいmicroSDカードに交換してください。
 本機が対応していないSDカードが挿入されています  非対応のSDカードです	<ul style="list-style-type: none"> 16GB未満または128GBを超える容量のmicroSDカードが挿入されている。 ✓「microSDカードについて」を参照して、本機で使用可能なmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してください。(→ P.13)
  録画を中止しました	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードの不良により、録画ができなくなった。 ✓microSDカードを挿入しなおしてください。 何らかの不具合が発生して録画が中止された。 ✓新しいmicroSDカードに交換してください。 スピードクラスが適合しないmicroSDカードを使用している。 ✓適合するmicroSDカードに交換してください。(→ P.13) 本機内部の温度が高温になっている。 ✓車内の温度を下げてください。保護回路が解除され電源が入り、録画を開始します。
 SD カードの交換推奨時期です	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードの寿命が近くなるとお知らせします。正しく記録できなくなる前にmicroSDカードの交換をお勧めします。 本機付属のmicroSDカードおよび当社製寿命告知機能対応microSDカードで使用時のみ有効になります。 ✓新しいmicroSDカードを入れてください。(→ P.23)

メッセージ	対処方法
 <p>手動録画失敗(ファイル上限) / イベント記録失敗(ファイル上限)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 手動録画やイベント記録のファイル数が録画ファイル数を超過している。(→ P.61) ✓ 不要なファイルを削除してください。(→ P.31) ✓ 必要なファイルをパソコン等にバックアップしてから、「microSDカードを初期化する」を参照してmicroSDカードを本機で初期化してください。(→ P.23) ✓ 動画・静止画記録設定の上書き保存(イベント)または上書き保存(手動)をONに設定してください。(→ P.37)
 <p>リアカメラが接続されていません</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 2ndカメラが接続されていない。 • 2ndカメラのケーブルが外れている。 ✓ 2ndカメラの接続を確認してください。(→ P.18)
 <p>ドライブレコーダーに異常があります</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ドライブレコーダーに何らかの異常がある。 ✓ お買い上げの販売店にご相談ください。

モニター画面について

- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったり、残像が見えることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、画面を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

商標について

- Windows、Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、OS X は米国およびその他の国で登録された米国 Apple, Inc. の商標です。
- Intel Core は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- 本製品は AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
 - 1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画 (以下、AVC Video) を記録する場合
 - 2) AVC Video (消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、または MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの) を再生する場合
- 本製品には、夜間などの暗い場所でも明るく撮影できる、裏面照射型画像技術「STARVIS」を採用した CMOS イメージセンサーを搭載しています。

STARVIS

STARVIS および **STARVIS** は、ソニー株式会社の商標です。

ソフトウェアについて

本製品には、以下に記載しています第三者のソフトウェアが含まれています。
各ソフトウェアについては、後述するライセンス条件が適用されます。

OpenVG 1.1
Copyright (c) 2007 The Khronos Group Inc.
適用ライセンス : Khronos License

Noto Sans Japanese
Copyright 2014-2019 Adobe (<http://www.adobe.com/>), with Reserved Font Name 'Source'. Source is a trademark of Adobe in the United States and/or other countries.
適用ライセンス : SIL Open Font License 1.1

第三者のソフトウェアに適用されるライセンス条件

Khronos License

OpenVG 1.1 Reference Implementation

Copyright (c) 2007 The Khronos Group Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and /or associated documentation files (the "Materials "), to deal in the Materials without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Materials, and to permit persons to whom the Materials are furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Materials.

THE MATERIALS ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE MATERIALS OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE MATERIALS.

Path data for the Tiger sample program has been extracted from Ghostscript's tiger.eps example file distributed under GNU General Public License.

Ghostscript's License document:

" The files in the src, lib, toolbin, examples, doc and man directories (folders) and any subdirectories (sub-folders) thereof are part of GPL Ghostscript.

The files in the Resource directory and any subdirectories thereof are also part of GPL Ghostscript, with the explicit exception of the files in the CMap subdirectory. The CMap files are copyright Adobe Systems Incorporated and covered by a separate license which permits only verbatim distribution.

GPL Ghostscript is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of version 2 of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation.

GPL Ghostscript is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program so you can know your rights and responsibilities.

It should be in a file named doc/COPYING. If not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA."

SIL Open Font License 1.1

Copyright 2014-2019 Adobe (<http://www.adobe.com/>), with Reserved Font Name 'Source'. Source is a trademark of Adobe in the United States and/or other countries.

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at:
<http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26
February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.
- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社 JVC ケンウッド (以下, "ライセンサー") が提供する本体組み込みソフトウェア (以下, "許諾ソフトウェア") はライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し、本契約はこの "許諾ソフトウェア" に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この "許諾ソフトウェア" をご使用いただくものと致します。お客様 (以下, "使用者") が "許諾ソフトウェア" を搭載した本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては、本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます "ソフトウェアに関する重要なお知らせ" を必ずご覧ください。

第 1 条 (総則)

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权 (第 3 条第 1 項に定める例外を除く) を使用者に許諾します。

第 2 条 (使用权)

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部若しくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変、若しくは貸与することができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否に関わらずいかなる目的でも頒布、ライセンス、若しくはサブライセンスをすることができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書又はヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部又は一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

第 3 条 (許諾条件)

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア (その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む) の使用权については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサー又はライセンサーに許諾ソフトウェアの使用権と再許諾権を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとし、ます。

第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者若しくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとし、ます。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは“許諾ソフトウェア”について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとし、ます。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示又は漏洩しないものとし、ます。

第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、又はそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとし、ます。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者は、契約が解除された日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとし、ます。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとし、ます。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェア及び関連書類等を日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した日本国外への送信を含みます）はできないものとし、ます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国及びアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとし、ます。
3. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法及び日本国の法律（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザ、エンドユーザによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとし、ます。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとし、ます。
2. 本契約に定めなき条項若しくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとし、ます。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとし、ます。

録画時間

解像度	フレームレート	microSD カード容量			
		16GB	32GB	64GB	128GB
2560 × 1440	29.1 fps	52 分	121 分	250 分	508 分
	9.7fps	67 分	157 分	324 分	659 分
	3.2fps	97 分	227 分	472 分	960 分
2304 × 1296	29.1 fps	56 分	130 分	269 分	546 分
	9.7fps	75 分	173 分	358 分	788 分
	3.2fps	114 分	265 分	550 分	1120 分
1920 × 1080	29.1 fps	60 分	139 分	287 分	584 分
	9.7fps	82 分	190 分	394 分	869 分
	3.2fps	136 分	318 分	659 分	1342 分
1280 × 720	29.1 fps	114 分	263 分	543 分	1103 分
	9.7fps	155 分	359 分	741 分	1507 分
	3.2fps	241 分	556 分	1151 分	2340 分
800 × 480	29.1 fps	202 分	464 分	959 分	1949 分
	9.7fps	261 分	600 分	1239 分	2518 分
	3.2fps	370 分	854 分	1764 分	3014 分

- 上記の録画時間は、常時録画、手動録画、イベント記録、駐車録画の合計(最大)です。
- 録画時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。
- 低フレームレート(9.7fps/3.2fps)の録画時間は撮影するシーンによって大きく変動する可能性があります。

録画ファイル数

録画機能	microSD カード容量			
	16GB	32GB	64GB	128GB
イベント記録	10	20	40	80
手動録画	10	20	40	80
駐車録画	10	20	40	80
静止画記録	100	100	100	100

- 常時録画ファイル数は、録画されたイベント記録、手動録画、駐車録画の数によって変わります。
- イベント記録、手動録画、駐車録画は「上書き保存」を「ON」に設定すると古いファイルに上書きして録画します(→ P.37)。必要なファイルはパソコン等にバックアップしてください。

主な仕様

メインユニット

電源電圧	14.4V (8.5V～16V) (12V 車両用シガープラグコード付属)
録画時消費電流 (最大)	380mA (1.0A)
測位衛星	GPS
G センサー	内臓 (- 4.0G～+ 4.0G : 5 段階)
液晶サイズ	2.7 型 フルカラーTFT 液晶
撮像素子	1/2.8 型 フルカラーCMOS
最大記録画角	水平 : 約 112° / 垂直 : 約 65° / 対角 : 約 131°
F 値	F1.6
HDR	○
動作温度範囲	- 10℃～+ 60℃
記録解像度 (最大)	Wide Quad-HD (2560 × 1440) (動画最大約 368 万画素)
フレームレート	29.1/9.7/3.2fps
記録方式	常時録画 / イベント記録 / 手動録画 / 駐車録画 * * 駐車録画は別売りの「CA-DR100」が必要
常時録画ファイル単位	1 分
録画フォーマット (動画)	MOV (H.264 + LPCM)
録画フォーマット (静止画)	JPEG 準拠 (最大 : 2560 × 1440)
記録映像再生方法	本体、もしくは Windows 標準の Windows Media Player など 専用ビューアソフト対応 (当社ホームページよりダウンロード)
記録メディア	・ 同梱 microSD カード (32GB) ・ 当社推奨 microSD カード ・ microSD カード 16GB～128GB 対応 V30 以上推奨
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W : 89.6mm/H : 54.8mm/D : 38.7mm ブラケット (テープ貼り付け) 装着時高さ : 最大 75mm
質量 (重さ) (ブラケット / ケーブル含まず、 microSD カード含む)	130g
電源ケーブル長	4.0m (シガープラグコード)

2nd カメラ

撮影素子	1/2.8 型 フルカラーCMOS
最大記録画角	水平：約 112° / 垂直：約 65° / 対角：約 131°
F 値	F1.6
HDR	○
動作温度範囲	- 10℃～+ 60℃
記録解像度 (最大)	Wide Quad-HD (2560 × 1440) (動画最大約 368 万画素)
フレームレート	29.1/9.7/3.2fps
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W : 40.3mm/H : 36.4mm/D : 32.7mm ブラケット (テープ貼り付け) 装着時高さ : 最大 63mm
質量(重さ) (ブラケット/ケーブル含まず)	35g
接続ケーブル長	8.0m

この装置はクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

● システム更新について

本機のシステムファームウェアを更新します。アップデートに関する情報やアップデート手順は、当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/> をご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）
0570-010-114（携帯電話、PHS からはナビダイヤル）
045-450-8950（一部 IP 電話など） / FAX 045-450-2308
受付時間などは、裏表紙を参照してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」(→ P.52) または当社ホームページの FAQ (→ P.52) を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

- 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

- 補修用性能部品の保有期間
この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
 - ・ 製品をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
 - ・ 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
 - ・ 保証期間内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外し、または取り付けの作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

- 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）
技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度

下記の申込用サイトに登録してください。

<https://jdrc-omimai.sakura.ne.jp/>

今すぐ事前Web登録を!

本制度のご利用にはWeb(ホームページ)からの事前登録が必要です。

商品パッケージにあるマーク、または右のQRコードから申込用サイトにアクセスすることができます。事前登録されないと補償金をお支払できませんので、購入後1か月以内のご登録をお願い致します。



交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度とは

ドライブレコーダーのご購入者及び使用者が、ドライブレコーダーを設置した車両でレッカー搬送を伴う交通事故にあわれた場合、ドライブレコーダーの再購入費用及びその諸経費を補てんする目的で、ドライブレコーダー協議会から一律4万円の補償金が支払われる制度です。

費用負担

無し

(費用はメーカーが負担します)

買替補償金

4万円 (一律)

JDRC **ドライブレコーダー協議会** 補償金制度担当
お問い合わせ ▶ e-mail : info@jdrc.gr.jp

内容

補償金の範囲

- 1 ドライブレコーダーの再購入費用
- 2 SDカード再購入費用
- 3 ドライブレコーダーの撤去費用
- 4 ドライブレコーダーの再設置費用
- 5 交通事故証明書の発行費用
- 6 補償金申請に関する資料及び物品の送付料
- 7 その他、上記に関する諸経費

補償金額

一律4万円

ご加入費用

無料 (費用はメーカーが負担します)

補償期間

登録日の翌日より1年間

受取人

本制度に加入しているご本人様となります。(死亡の場合は、法定相続人となります。)

対象となる交通事故

レッカー搬送を伴う自動車事故
(追突された場合、車両が盗難された場合、車両が故障された場合は除きます。)

事故時における申請資料

下記資料をご提出ください

- 1 ドライブレコーダー本体
- 2 ドライブレコーダーの事故映像データの記録されたSDカード
- 3 交通事故証明書(写しでも可)
- 4 レッカー搬送の証明書類
- 5 再購入された同一メーカーのドライブレコーダーのレシート



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHS からはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜: 9:30 ~ 18:00
土曜: 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。